

# オホーツク海・日本海 4 月 魚探情報

—試験調査船「北洋丸」による海洋観測および魚群分布調査の結果—



2023 年 5 月 9 日

北海道立総合研究機構 稚内水産試験場

(担当：調査研究部 堀本 0162-32-7166)

- ◎オホーツク海沿岸域の底層水温は 4~5℃台の水温帯が優占
- ◎日本海沿岸域の底層水温は 5℃以上の水温帯が優占
- ◎オホーツク海沿岸域における魚群反応量は前年と同程度で、枝幸~雄武沖の水深 100~200mの海域にスケトウダラとみられる濃い魚群反応が分布
- ◎日本海では留萌沖にスケトウダラとみられる濃い魚群反応が分布

## 1 調査概要

2023 年 4 月 12~24 日に稚内~積丹沖の日本海, 稚内~網走沖のオホーツク海において, 試験調査船北洋丸により, 海洋観測および計量魚探を用いた魚群分布調査を実施しました。

## 2 水温観測の結果

調査海域における底層水温(海底上 5~10m, 水深 400m 以深の海域は深度 400m の水温)の分布を図 1 に示します。今年 4 月の底層水温は, オホーツク海では宗谷暖流の流入により 4~5℃台, 沖合域では 3℃以下の海域が広がっていました。日本海では 5℃以上の海域が広範囲で確認され, いずれの海域も前年(2022 年)とほぼ同様の水温環境となっていました。

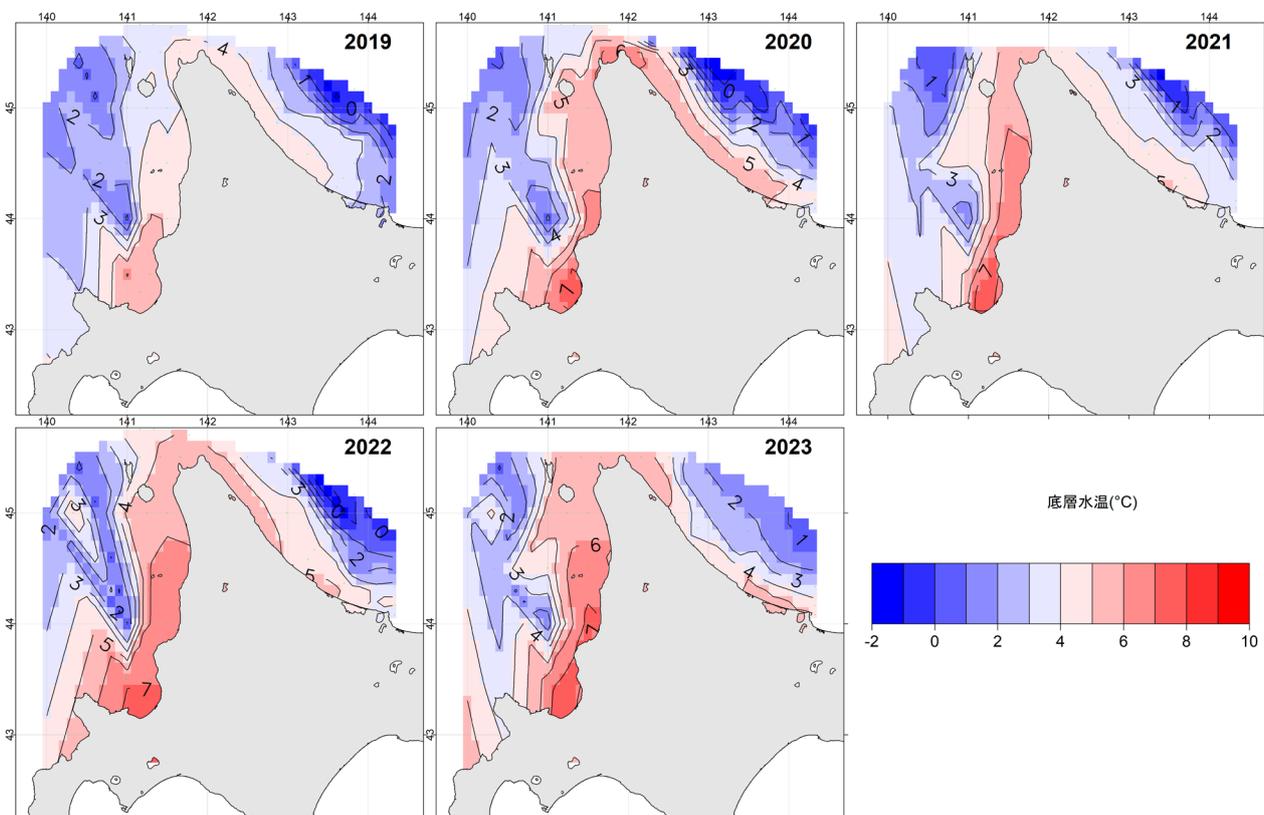


図 1. 北海道北部沿岸における底層水温 (°C) の分布. 2019~2023 年 4 月.

### 3 魚群分布調査の結果（オホーツク海）

計量魚探で得られた1海里あたり魚群反応量の分布を図2に示します。今年の調査では、魚群反応量は前年と同程度で、枝幸～雄武沖の水深100～200mを中心に、スケトウダラとみられる魚群反応が観察されました（図3）。

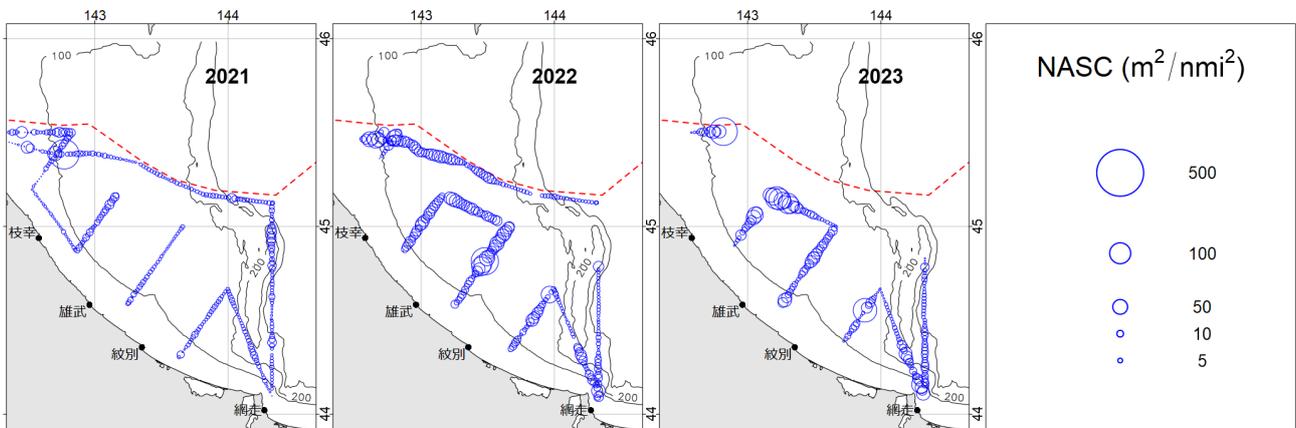


図2. 北海道沿岸オホーツク海における魚群反応量  $\text{NASC} (\text{m}^2/\text{nmi}^2)$  の分布. 2021～2023年4月.

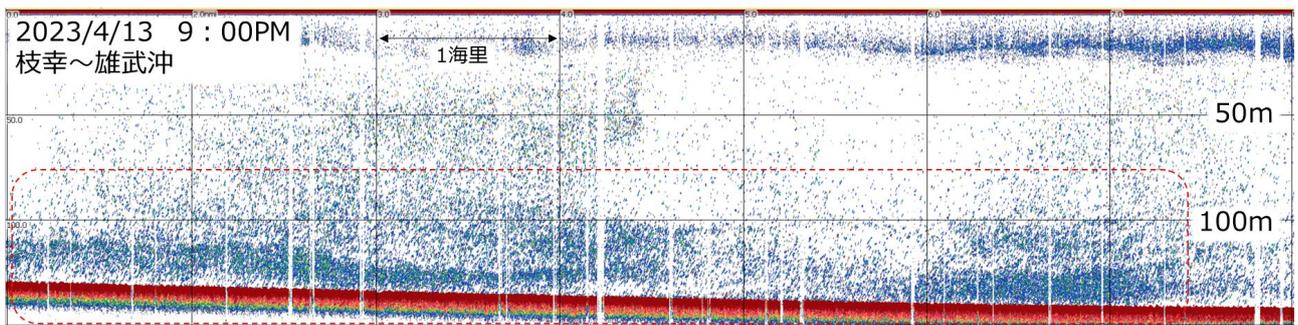


図3. 2023年4月13日の魚探画像（赤破線枠内：スケトウダラ）. 枝幸～雄武沖.

### 4 魚群分布調査の結果（日本海）

計量魚探で得られた1海里あたり魚群反応量の分布を図4に示します。留萌沖の水深150～400mにおいて、スケトウダラとみられる魚群反応が観察されました。

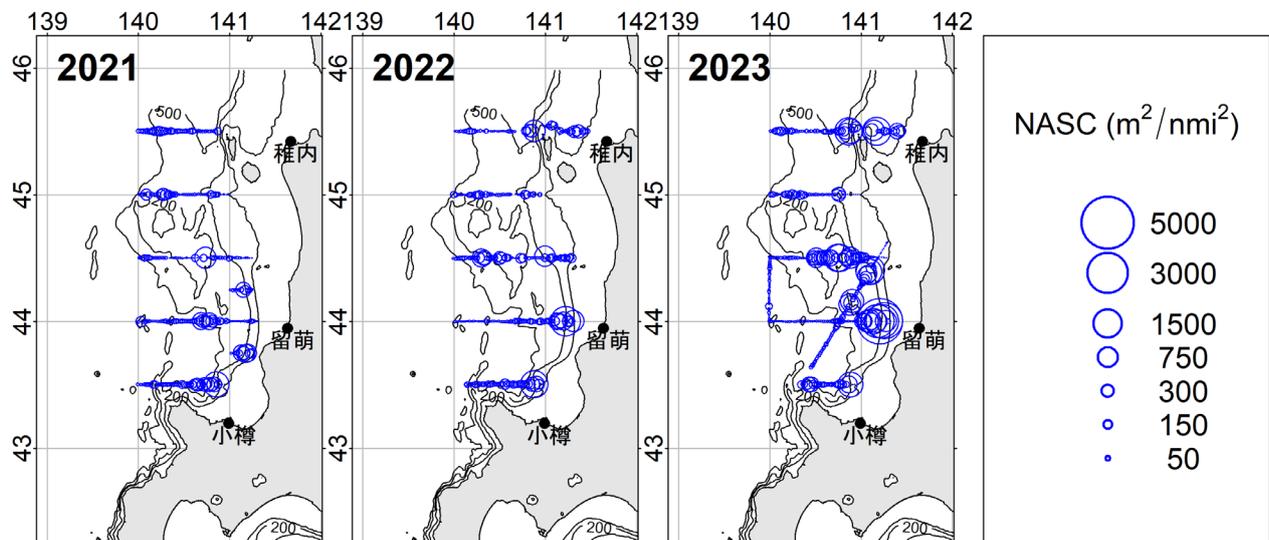


図4. 北海道西部日本海における魚群反応量  $\text{NASC} (\text{m}^2/\text{nmi}^2)$  の分布. 2021～2023年4月.